

木材の
需要拡大

工務店や設計士が望む木材の要件は？

～ 工務店・設計士を対象とした木材に関する意識調査～

研究の背景・目的

島根県の新設住宅着工戸数のうち約60%が木造であり、県内から生産された木材の約40%が住宅用部材として利用されています。そこで、実際に木造住宅の設計・施工を行う工務店及び設計士を対象として、木材を使用する際のニーズを把握して、それに応える県産材を供給することを目的として調査を行いました。



写真 伐採から住宅まで

研究方法

調査は、島根県住まいづくり協会、島根県建築士事務所協会及び島根県建築技術協会隠岐支部の会員の中から、木造住宅を手掛ける工務店及び設計士事務所を対象として、アンケート調査を行いました。

表1 アンケート調査を実施した事業体数および回答数

	住まい づくり 協会	建築士 事務所 協会	建 築 技 術 協 会	不 明	合 計
送付数	108	54	18		180
回答数	64	34	3	1	102
回答率(%)	59.3	63.0	16.7		56.7

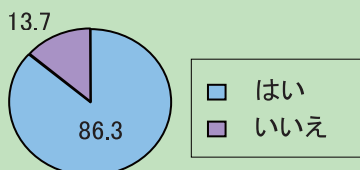
※建築技術協会は隠岐支部の会員のみ送付

※不明は事業体名が未記入であったもの

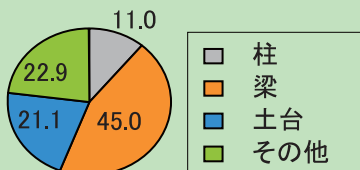
研究の状況と成果

アンケート調査用紙は、3協会あわせて180事業体に郵送し、そのうち102事業体から回答をいただきました(回答率56.7%, 表1)。

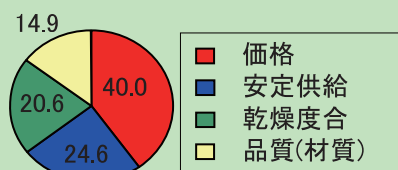
・国産材を使用するときに、県産材と他県産材の区別ができれば県産材を使っていきたいですか？



・現在、外材を使用している部材で国産材で代替できるものがありますか？



・国産材で外材を代替する場合に求められる条件はなんですか？



工務店や設計士には、県産材を使用したいという思いがありました。従って、使用者側が望む製品を供給できれば、県産材の需要拡大に繋がると考えられます。

研究成果の活用場面・その他

- ①この調査結果を踏まえ、県産スギ平角材を木造住宅の梁桁材として利用いただくため、強度試験を行いました。その結果から、「島根県産スギ横架材スパン表」を作成し、工務店や設計士に活用いただいています。
- ②県産スギ平角材の乾燥試験も行っており、使用者側のニーズにマッチした乾燥材生産に繋がります。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207 問い合わせ先 0854-76-3825

所属グループ 木材利用グループ

担当研究者 中山 茂生(なかやま しげお)

E-mail chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名: 木材需給の実態と県産材による供給可能部材の検討 (研究期間:H15)